レッスン：SPA100

テーマ：質問＆答え

SPA100/KE02/JAN2

私の姉妹・兄弟たち、

スピリット、光そして火の子供達よ、私たちは常に主、絶対、主の聖性に包まれています。

**Q：**部屋のなかで創造の元型を身に纏い、また他の全てのピラミッドのなかにいる時、私たちは何の上の立っているのですか？

**K：**部屋の形は何ですか？それは全ての面が等しい立方体です。私たちは地面にはフォーカスしません。部屋の真ん中に立っていると言いましたね。でも床と天井の間のどのレベルでの真ん中かは述べませんでした。

　五芒星を身に纏っている時、完全に部屋のなかにいます。同じことが他のシンボルについても言え、また14芒星についても言えます。他の3つの三次元的シンボル、ピラミッドの中にいる自分を見る時も、それらは部屋のなかにあります。そして部屋の天井から突き出ている唯一の頂点は四面ピラミッドの頂点です。ですから四面ピラミッドを活性化するとき、14芒星は完全に四面ピラミッドのなかにあります…底面は三面ピラミッドなのですが。三面ピラミッドを活性化する時、部屋または四面ピラミッドであろうとも、サイズに関しては全てが落ち着きます。

　部屋の中にいるとき、私たちは地のエレメントの上に立っているのでしょうか？そうです、私たちは地のエレメントに囲まれていて、また部屋の境界によって守られています。3番目のサイクルにいるときには、地のエレメントの上に立っています。ですから、部屋は現れの限界を示すのみならず、それはまた地のエレメントのなかにあることによる影響から現在のパーソナリティーを守っているのです。

**Q:14**芒星を視覚化するとき、私たちがその中にいる時、それは垂直ですか、水平ですか？

**K:**垂直です。五芒星のように。そしてそれらのシンボルは様々な法則、一般に私達の実存と関係する不動の法則を意味します。マインドの様々な波動のなかで自分を現すことに関して私たちが関係する法則です。

　質問は「それなら、なぜそれらのシンボルを視覚化するのか？」というものですが、それはシンプルです。つまりそれらの法則に到達する唯一の方法は、それらのシンボルを通じてなのです。

　それは実際全ての人にとって共通の言語なのです。それらの法則のいくつかは、意味として他の波動を創造することによってアプローチすることができます；数の組み合わせ；様々な色のコンビネーション；様々な音の組み合わせ、その他によって。

　さて、五芒星に関しては、私たちはそれらを守護として使っていますが、14芒星は守護として使用していません。それは現在のパーソナリティーが経なければならないものを示しています。

　そして勿論、太陽神軽叢にも小さな五芒星と14芒星がありますが、それら2つのシンボルはその特定の現在のパーソナリティーを示しています。それは何回も戻ってくるものではありません。それは現在のパーソナリティーが五芒星に関して現しているものです。

　14芒星はその特定の転生において完了すべきです。そして勿論、五芒星は人間のイデアの元型を示しています。そのフォームは全ての人間にとって同一です。そして自己実現に到達する時にもそのフォームがあります。そして14芒星は完了した時には自動的に能力を付与し、現在のパーソナリティーはそのなかにある五芒星を身に纏うのです。

**レッスン　SPA100/エクササイズ１**

静かに座り目を閉じて心を騒がせるものすべてを解き放ちます…真っ白な自分を見ます…同時にあなたは純白の五芒星の中で守られています…それでは実存の世界であなたの肉体を維持している元型にエネルギーを与えて活性化し、そこにあるいろいろなシンボルと色を見ます…同時に14芒星にもエネルギーを付与して活性化します。14芒星は五芒星がその中に入っているのでかなり大きくなっています…これがこの世界の波動におけるあなたの完全なヒポスタシス（＊状態）です…完全なヒポスタシスとはこの波動の中であなたの存在を維持している全ての法則を意味します…

　それではそのようなあなたのヒポスタシスを伴って、あなたは自分の部屋にいます…正面には純白が、右側には赤、後ろにはホワイトブルー、左にはウルトラバイオレットが、そして14芒星も部屋のなかにあります…

　それでは四面ピラミッドを活性化し、部屋の各壁と同じ色が各サイドに見えます…勿論、四面ピラミッドの底面は部屋の床よりは小さいです…あなたは同時に部屋の境界と四面ピラミッドの境界をみています…

　それでは三面ピラミッドを活性化します…三角形の右側のサイドはホワイトピンク、左側のサイドはホワイトブルー、後ろは金色です…三面ピラミッドは大きさとしては部屋の中にあり、14芒星も部屋のなかに収まっています…ですから部屋と四面ピラミッドのサイズに収まるように他のサイズも調整します…

　五面ピラミッドを活性化します…全てのサイドは同じ色で、底面に近い部分は鈍い白、上に行くにつれてより輝かしい白になり、頂点は非常に輝いていて近づけないほどです…そして五面ピラミッドと三面ピラミッドの頂点は同じです…そして正面には五面ピラミッドの2つのサイドでできた角があり、それは三面ピラミッドの角と一致しています…ただそれぞれの角度は異なっていますが…あなたはこれら全てのピラミッドの境界、および部屋の境界に気づいています…

　それでは三面および五面ピラミッド、2つのピラミッドを同時に回転させます…それでも部屋と四面ピラミッドに関しては、あなたの正面には純白が輝いています…四面ピラミッドは回転していません…回転しているのは三面および五面ピラミッドだけです…それらは同じ方向に、時計回りに回転しています…

　徐々に、三面ピラミッドのサイドの色をみます…次々と目の前に来るサイドの色が変わります…金色のサイドの次にはホワイトピンクが現れ、次にホワイトブルーが来ます…そのような順序で色が変わります…これら2つのピラミッドを回転させていきます…

　ホワイトピンクの次はホワイトブルー、次は金色というように…そして今、ホワイトブルーと金色のサイドによる角があなたの正面に来ています…しかし回転の動きは続き、徐々にホワイトブルーは元の位置に落ち着き、他の2つの色もそれぞれ元の位置に落ち着きます…そして今完全な円になりました…そして今これら2つのピラミッドの共通の底面ができています…同時にこれら2つのピラミッドを回転させることによって円錐形ができています…そして14芒星はこの円錐のなかにあります…あなたは今いかなる色も見えません…

　徐々にこの特定の潜在的可能性のサイクルをマスターできるように、これらのシンボルが現在のパーソナリティーに提供しているものにアプローチします。

あなたの現在のパーソナリティー全体の健康を願います。終わります。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

これは簡単なエクササイズではありません。しかしいいですか、これが唯一の方法なのです。そして説明したように、これらのシンボルは現在のパーソナリティーが同調すべき法則を意味しています。マスターというよりも同調すべきものです。なぜなら、これら全ての法則は私達の内側にあるからです。

**Ｑ：**現在のパーソナリティーはそれらの法則に同調する必要があると言いましたが、それぞれのシンボルは一体何を意味しているのでしょうか？

**K：**様々な法則です。そしてそれらが一緒になって、それらはもっと大きな法則、不動の法則を示しています。例えば、動物のシンボルがあります；勿論、それもまた一つの法則ですが、しかしその法則をマスターするために私たちが何かをしなければならない、ということではありません。自動的に現在のパーソナリティーが直接的に関係している何か…例えば人間のイデアに関係するもの…をマスターすることによって、私たちは創造界、現れの諸世界に関する他の全ての法則をマスターすることになるのです。

**Q：**それでは、私たちが法則と同調するとき、私たちは何に成功するのですか？

**K：**徐々に私たちは何であれその法則が現在のパーソナリティーに提供するものを現すようになるのです。

**Q：**例を挙げてくれますか？

K：例えば五芒星は5つの超感覚、真の感覚です。三面ピラミッドの場合は、特定の三面ピラミッドが提供しているLifeの本質から来るもの。四面ピラミッド、それは4つのエレメントに関してマスターするレベルです。

　勿論、現れのレベルを高めることによって、つまり私たちがLifeそれ自体からより多くを現すことによって、私たちは全体としてこのリアリティーに近づいていくのです。そしてゆっくりと徐々に、現在のパーソナリティーはマスターできるようになるでしょう…勿論、自己実現に到達したときに何をマスターするのでしょうか？いわゆる、物質化、非物質化、また物質の波動を変える、物質の本質を変えることができます。

　勿論、このメソッドは金属、物質その他何であれそれらの構造を変えるためにオーソドックスではない方法で試みられてきました。結局、アインシュタインは何に成功したのでしょうか？もしアインシュタインが何であれ彼が与えたものを継続したとしたら、それはオ－ソドックスではないものでした。

　Page4

　何であれ彼が発見し、提供したもの、それは肯定的にも否定的にも使用することができます。そしてLifeが提供できるもの、それは何であれベストなものだけです。Lifeが提供するものに二元性はありません。

　彼がアプローチした方法は方程式、数字その他による意味の創造を通じたものでした。そして前に述べましたが、様々な数字、または様々な波動の使用によってここで意味を生み出します…それらの意味が何であるかを知らなくても。それらの法則にアプローチする上で、それは適切な方法ではありません。それはある意味でマジックによるアプローチです。勿論、それは今の所、人間が使うことのできる唯一の方法です。人は適切な方法で法則にアプローチすべきです。つまり、何であれ法則が現在のパーソナリティーに提供するものを現すということです…現在のパーソナリティーが遠くからそれらの法則を使うのではなくて。

**Q：**それでは私たちが二元性から法則にアプローチすると、それは肯定的にも否定的にもなるということですか？

**K：**勿論そうです。これらの法則が提供しているものをあなたが肯定的に使用するということを誰が保証するでしょうか？なぜなら、現在のパーソナリティーがセルフ（＊自己）を動機と意図と共に現す時には、それらの動機と意図が純粋なものに留まるか否かはわからないからです。

　何であれ法則が提供するものを適切に現すためにはたくさんのワークが必要になります。そしてそれは適切な方法です。不適切な方法とは、現在のパーソナリティーが気づきの上昇の結果としてより多くをLifeから現そうとする結果として能力とパワーを現すことなしに、テクニカルなやり方でそれらの法則が提供できるものにアプローチし、利用しようとする（勿論ある程度までですが）ことです。

　これらの法則が提供するものを現す唯一の方法とはたくさんの努力、ワークの結果であるべきです。それが私たちがやろうとしていることです。そしてその唯一の方法とは知識、およびそれらの法則が意味するものを使ってエクササイズを行うことです。説明したように、それらの法則はそれらのシンボルによって示されています。そしてそれらのシンボルは言語としては全ての人にとって共通しています。

**Q：**四面ピラミッドの頂点は部屋の外に出ています。しかし、三面ピラミッドは全体が部屋の中にあります。四面ピラミッドが完全ではない場合、どのようにして三面ピラミッドのピークを形成するのですか？

**K：**それらは別々です。三面ピラミッドは四面ピラミッドから独立しています。三面ピラミッドは四面ピラミッドのなかにあり、四面ピラミッドは三面ピラミッドよりずっと大きいのです。四面ピラミッドがそこにあり、その内側に三面ピラミッドがあります。

　いずれにしても、サイズは変わります。しかし、現在の気づきのレベル、そして人間の肉体のサイズを考えるなら、現在のパーソナリティーは潜在的可能性の２番目のサイクルにいます。ですから、もし５つの等しい距離を分割し、14芒星の中心からその外側のポイントまで達する円を作り、中心から14芒星の内側のポイントまでの空間を考えると、2つのサイクルができます。ですから私たちは内側から外側へ、さらに3つの潜在的可能性のサイクルがあるのです。それは５つです。それについて考えてみなさい。

　例えば、正確ではないですが、肉体にはある程度の高さがあります：1,7メートル、1,8メートル、2メートルなど（2メートルまたはそれ以上の人もいますが）。ですから外側のポイントまでは何メートルあるでしょうか？

Page5

**Q：**普通は、パーソナリティーは困難に出会い、それらを解決し、またエゴにワークしたりという実践によって、気づきが変化していきます。例えば、ただエクササイズだけに時間を費やし、人々との関わり合いがないとします。

**K：**その場合、その人は何も成功しません。なぜなら、何であれ実際の生活で何も実践しないからです。もし何も実践しなければ、何も達成できません。その人は自分のイリュージョンを達成し、自分でできると思いますが、試みたとたんに自分ができないことがわかります。それゆえに

**私たちは人々から離れて孤立することに賛成しないのです。孤立のなかで気づきを上昇させようとしても、何も達成できません。**

**とにかく、毎日の生活が良いチャレンジとなります。そして何回も言ったように、それは最も重要な祈りなのです。そのなかで毎日の生活のなかで同胞の人間たちのために行動するのです。これは最も重要な祈りです。**

**Q：**幽体離脱を体験している最中、それら全てのピラミッドとシンボルのある段階を見ることができる、と多くの人々が述べていますが。

**Ｋ：**ええ、しかし私たちはファンタジ－、イリュージョンを望んでいません。私たちは何であれ本当のリアリティー（それは絶対リアリティーと比べれば、比較的と言えますが）の体験を望んでいます。Lifeから与えられる能力とパワーはこの体験を与えられています。私たちはファンタジーを欲しません。私たちは触れることのできるもの、実体のあるものを望んでいます。

　レッスンで述べたように、ファンタジーですらリアリティーとなります。私たちの一人一人にとって、その人のファンタジーはその人にとってはリアリティーなのです。イリュージョンですらリアリティーになり得ます。そして嘘ですらその人にとってリアリティーになり得ます。もしいつも嘘をついていると、最後には自分でその嘘を信じるようになります。それらはリアリティーとなるのです。しかし､私たちはそのようなものは望みません。私たちが望むこと、それは何であれLifeが提供するものを体験することです。私たちの真の現れはLifeから与えられているものです。他の手段でそれにアプローチしようとは思いません。私たちは自分たちの真の現れにアプローチしようとしているのです。

　何人ぐらいの人々が意識的に幽体離脱、エクソマトシスをしていると主張しているでしょうか？この地球上で多くの人々がそう言っています。彼らはそれが可能だと思いますか？

**Q：**でもそれが本当かどうかを計る物差しがあるでしょうか？

**K：**そのための物差しとは一つのリアリティーです。何であれLifeが提供しているものを現す、という物差しです。自分たちのイリュージョンを生きたいとは望みません。

**Q：**その人が助けを与えることができるというアイディアによって、計ることができます。しかし助けを必要とする人々がいなくなったら、どうなるのですか？

**K：**助けを必要とする人がいなくなるということは、全ての人がエクソマトシスの能力を得ていることを意味します。

**Q：**それは何を意味するのですか？なぜなら、人は眠っている時でもエクソマトシスをしていると言う時には、それは…

**K：**もし全ての人がエクソマトシスの能力に到達するなら、そのときには誰もエクソマトシスを行わないでしょう。なぜなら、その時には誰も肉体を使わないからです。それについて考えてください。ですから、もはやエクソマトシスはありません。そして全ての人が自己実現のステートにいる場合、低い波動の現れのなかに送られることはありません。そして全ての人は自己実現のステートにいて、他の惑星、他の銀河にいる同胞の人間達を助けることでしょう。

**Q：**しかし、すべての目的は常に助けることなのですか？なぜなら、それ以上のものがあるに違いないと思うのです。自分がそのときいる所を見ることも許されないのですか？全ての好奇心を失い、楽しむことも失うのですか？

**K：**楽しむ、好奇心？もしあなたが好奇心を現すなら、あなたは何も達成しません。

Page6

**Q：**一つの惑星上で、何も見ていないのを想像してください。例えば、月で何か災害があって助けに行きますが、何も見ません。場所はどこでも構いませんが。例えば、アフガニスタンに誰かが行く場合、何か物理的なことをするのでしょうか、それとも痛みを伴う波動に出会うだけなのでしょうか？

**K：**もし不可視のヘルパーがその地域に助けに行くなら、その国を見物するといった好奇心でそこを訪れることはしないでしょう。

**Q：**そのことを考えていました。でもそのどこが悪いのですか？少し覗いて見ることのどこが悪いのですか？それが可能だから行きますが、でも何も覚えていないのですか？

**K：**探求者のなかには覚えている人もいます。しかし、いずれにしても、その時に、あなたの身体が再形成される時にはあなたは完全に意識的になっていて、超意識的ステートさえも現しています。助けるために、あるいは助けられるために（なぜならば、そのときそのパーソナリティーは助けられていて、潜在意識に意識的にインプットされ、失われることはありません）誰かによってあなたの身体が完全に再形成されます。潜在意識にインプットされれば、それは失われません。しかし、それは瞬間的、一時的かもしれません。しかし一瞬でも他の波動のなかにいるということ、そこには大きな意味があります。他の波動ではたくさんの出来事が「生じる」ことができます。そこでは動きはもっと速いスピードで行われます。そこでは認識もより速いスピードで生じます。あなたは夢を見ますが、夢のなかでたくさんの出来事がありますが、それらもこの次元の時間にするとほんの一瞬です。

**Q：**意識していない体験が自分に影響を与えることはできるのですか？

**K：**はいそうです。なぜなら、私たちは皆、潜在意識的記憶として、同じLifeの海のなかで泳いでいます。ですから、全ては全てのなかにあります。勿論、他のエリアの人々によってインプットされたものに影響されることはありえますが。

**Q：**それでは不可視のヘルパーは、インプットされているポジティブなもので否定的な人々を囲んで、彼らを変えることは可能ですか？

**K：**何であれ法則が許すこと、それは一般に人類にとって有益となるものです。不可視のヘルパーが行うことはすべて、有益な結果をもたらすことです。もし法則が許さなければ、不可視のヘルパーは何も行いません、何もできません。例え、何か悪いことが起きると知っていてもです。

**Q：**でも法則が許さないということが、どうしてわかるのですか？私には理解できません。

**K：**それを言葉で説明するのは不可能です。

**Q：**それはヒーラーの行為と似ていますか？

**K：**イエスでありノーです。なぜなら、ヒーラーは何であれ完全な治癒のために行いますが、不可視のヘルパーは法則に反応するからです。その出来事における不可視のヘルパーの行動、動きは完全に法則に沿っています。何かを行って、もし法則がそれを許さなければ、法則がそれを元に返すということではありません。

　不可視のヘルパーがそのような仕事をする場合には、特に肉体がある時には非常に注意する必要があります。なぜなら、この次元で波動を下げると身体に影響が来るからです。どの身体ですか？そのとき使用しているサイコノエティカル体ですか？違います、後に残してきた肉体が影響を受けてしまうのです。なぜならサイコノエティカル体と肉体はつながっているからです。

もしあなたがサイコノエティカル体の波動を下げると、サイコノエティカル体と肉体をつないでいるシルバーコードを介して肉体にも同じことが生じます。ですから注意する必要があります。さもないと不幸にも悪影響を被ることになります。危険を制限するために、常に機敏でいる必要があります。

EREVNA SPA 100/KE02/JAN2